

# 大年寺山公園によろこぞ!

大年寺山公園には豊かな自然が残っており、大年寺風致地区(67.2ha)として指定されています。園内にある野草園は季節の花々が咲き誇り、市民の憩いの場となっています。

大年寺山は多くの歴史的な文化財があるところでもあり、古くから人々が活動した痕跡がみられ、山裾の斜面には大年寺山・茂ヶ崎・ニツ沢などの横穴墓群が造られています。中世には、栗野大膳の居城となった茂ヶ崎城が築かれ、その空堀や土塁の跡が残っています。

江戸時代には仙台藩伊達家の霊廟が営まれ、その菩提寺であった大年寺がありました。現在は、霊廟と市指定文化財である大年寺惣門を見ることができます。

大年寺山の歴史や自然にふれながら、散策してみましょう!

## ■大年寺 惣門 だいにんじ そうもん



惣門とは総門と書くことがふさわしいのですが、大年寺ではこの惣を使います。第5代藩主伊達吉村が1720年代に建てたもので、5つの屋根を持っている高麗門という形式で、2本の本柱に切妻屋根を架け、本柱の背後に控え柱を立てて同じく切妻屋根をつけています。門には唐僧鼓山道霈(こざんどうはい) 禅師の筆跡による「東桑法窟(とうそうほうくつ)の扁額(へんがく)が懸けられています。これは

日本の東の仏法の中心であるという意味です。1985年(昭和60年)仙台市の有形文化財に指定されました。

## ■仙庵・茂ヶ崎庵 せんあん・もがさきあん



大年寺山公園には、2つの茶室があります。「仙庵」裏千家14世家元無限齋夫人である仙台市出身の千嘉代子氏が1969年(昭和44年)に名誉市民に推薦されたことを記念して裏千家より仙台市に寄贈されたものです。現代数寄屋建築の粋を結集した本格的茶席は、東北における文化的名席です。



「茂ヶ崎庵」仙台市の建設業者(株)橋本店の創業者、橋本忠治郎氏の居宅兼事務所だった母屋部分を1967年(昭和42年)に仙台市に寄贈された明治末期の建物です。杉及び樺の最良の材料が使用された伝統的な和風建築です。

両施設とも庭園の見学ができます。

【連絡先】 ☎022-248-2815 (茂ヶ崎庵 管理人室)

※茶室使用申請 / 太白区建設部公園課 ☎022-247-1111

## ■姥杉 うばすぎ

推定樹齢/500年  
樹高/28.0m  
幹周/8.0m  
※市指定保存樹木



## ■杉土手 (鹿除土手 ししよけどて)

杉土手は田畑を荒らす鹿や猪の侵入を防ぐため築かれたものと考えられますが、仙台北の南の防塁として築かれたとの説もあり様々な言い伝えが残っています。杉土手の構築が始まった年代は定かではありませんが、仙台藩が最も繁栄した時代の第4代藩主綱村も造営を行っています。全長6.4kmあり高いところで2.1m、幅は9mから18mもありました。



# 大年寺山公園 略図



## ■伊達家 墓所 (無尽灯廟) だてけ ほしよ (むじんとうびょう)

第4代藩主綱村の没後、遺言により大年寺山に墓所が設けられ、廟は無尽灯と称されました。第5代藩主吉村は綱村の遺言「先規に従い毎世廟を建てなば後世子孫何を以て保たん、我死せば墓石を建て瓦葺の屋根を覆うまでにすべし」に従い、壮麗な経ヶ峯とは対照的に、墓石に瓦葺の覆屋を建てただけの簡素なものとした(現在は墓碑のみ)。次の藩主吉村は夫婦の墓を並列することにしました。



東の霊屋 無尽灯廟に葬られている方々 ※(没年)

- 4代 / 綱村(1719年)
- 5代 / 吉村(1751年)・夫人(1745年)
- 10代 / 齊宗(1819年)・夫人(1827年)
- 12代 / 齊邦(1841年)・夫人(1861年)

## ■伊達家 墓所 (宝華林廟) だてけ ほしよ (ほうかりんびょう)



西の霊屋 宝華林廟に葬られている方々 ※(没年)

- 6代 / 宗村(1756年)・夫人(1745年)
- 7代 / 重村(1796年)・夫人(1805年)
- 8代 / 齊村(1796年)・夫人(1796年)
- 13 ~ 17代当主・夫人墓

墓所の公開はしておりません。